



広報 —ご家族皆さんでご覧ください—

ふたば

高め合あう! 双葉



7

災害版No.14 7月号
2012



表紙写真：初夏のひととき

平成24年7月1日発行 編集・発行 / 双葉町埼玉支所 秘書広報課



▲福島支所に掲げられた横断幕



▲埼玉支所に掲げられた懸垂幕

メダルに期待

—各支所に横断幕—



ロンドンオリンピック自転車競技に出場する渡邊一成選手を応援する横断幕が5月28日、双葉町福島支所と埼玉支所に掲げられました。福島支所の横断幕は横約6メートル、縦約1.5メートルで「祝」の文字が赤で大きく書かれ、渡邊選手の名前が入っています。埼玉支所に掲げられた懸垂幕は横約1.2メートル、縦8メートルで埼玉県加須市から贈られました。

東日本大震災から1年3カ月が経過した今もなお、全町民が避難生活を余儀なくされている

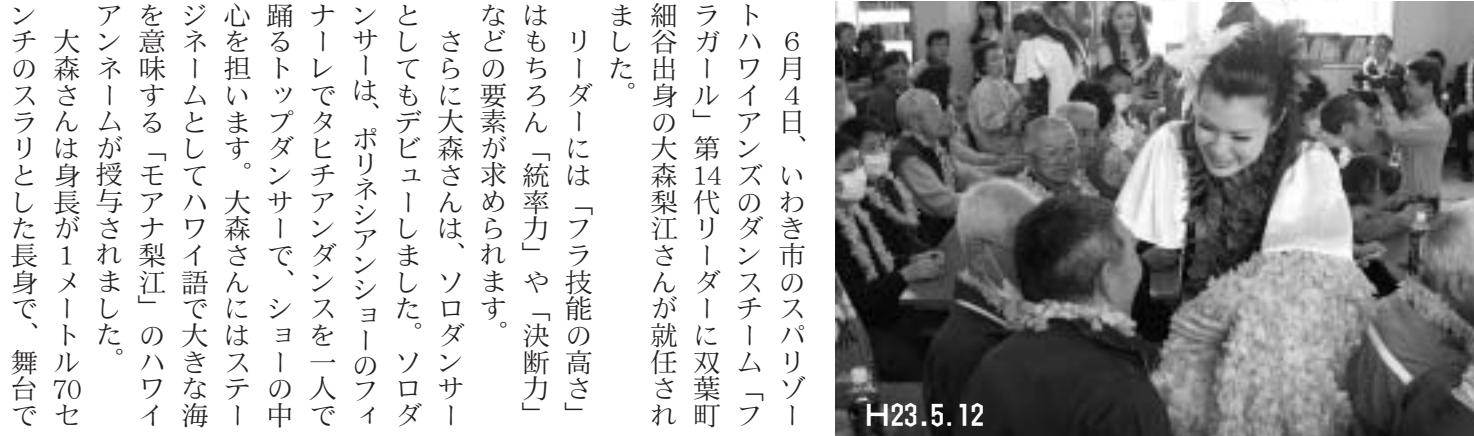
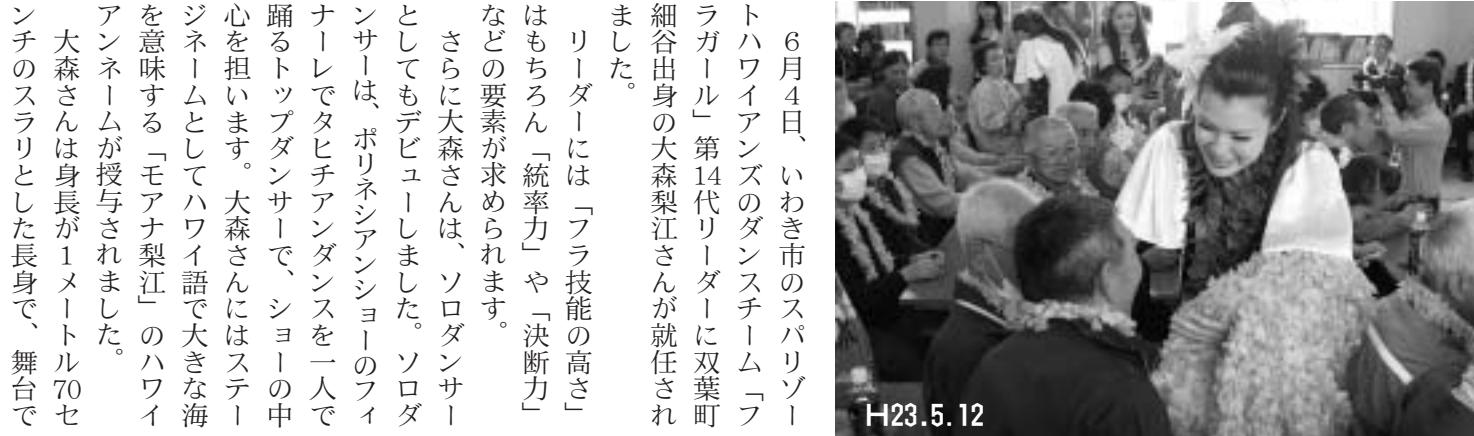
ロンドンオリンピック自転車競技はヴェロパークで8月2日から始まります。

ロンドンオリンピック自転車競技は、双葉町の希望の星。ロンドンオリンピックでの活躍を期待しています。練習の成果を発揮され、ぜひメダルを取ってきていただきたい」と話しています。

双葉町にとつて、渡邊選手の二大会連続オリンピック出場の快挙は全町民の大きな喜びであり、心の支えとなっています。

掲示された懸垂幕を見上げながら井戸川克隆町長は、「渡邊選手は双葉町の希望の星。ロンドンオリンピックでの活躍を期待しています。練習の成果を発揮され、ぜひメダルを取ってきていただきたい」と話しています。

フラガール新リーダーに



6月4日、いわき市のスパリゾートハワイアンズのダンスチーム「フラガール」第14代リーダーに双葉町細谷出身の大森梨江さんが就任されました。

リーダーには「フラ技能の高さ」はもちろん「統率力」や「決断力」などの要素が求められます。

さらに大森さんは、ソロダンサーとしてもデビューしました。ソロダンサーは、ポリネシアンショーのフィナーレでタヒチアンダンスを一人で踊るトップダンサーで、ショーの中を担います。大森さんはステージネームとしてハワイ語で大きな海を意味する「モアナ梨江」のハワイアンネームが授与されました。

大森さんは身長が1メートル70センチのスラリとした長身で、舞台で

も目立つ存在として大きな期待が寄せられています。

大森さんは双葉中学校の卒業生で、ロンドンオリンピック出場の渡邊一成選手とは同級生。高校を卒業後、平成16年4月に第40期生として常磐音楽舞踊学院に入学し、フラガールとなりました。震災後の5月12日に、フラガール7人を率いて旧騎西高校を慰問し、素晴らしいハワイアンダンスを披露していただきました。また、12月5日には再び双葉町出身のフラガール横山実香さん（第43期生）と二人で旧騎西高校を訪れ、ダンスを披露した後、町民の方々と交流を図りました。大森さんは「私の踊りで元気を取り戻し、一步ずつ前に向かって進んでいただきたい」と話さ

れていました。

H23.12.5

町民の皆さんへ

—双葉町の将来を見据えて—

今年も暑い日々が続く季節となりました。しかし、町民の皆さんには先の見通しが全くつかない不安の中で、何をしても気持ちが晴々しない日々を過ごされているものとお察し申し上げます。このようないい厳しい避難生活が続く中ではあります、ロンドンオリンピック出場が決まった渡邊一成選手に続き、双葉町出身の大森梨江さんが、「フラ技能」と「統率力」が高く評価され、スパリゾートハワイアンズのフラガールの新リーダーに就任されました。また、昭和女子大大学院で環境デザインを学んだ双葉町出身の草野恵さんが、双葉町の復興計画をテーマとした研究論文「警戒区域再生の設計図」が、メディアに取り上げられるなど、若い人を中心、懸命にこの苦難を乗り切ろうとしている姿に強い感動を覚えました。

さて、原発事故を巡る情勢を申し上げますと、国会事故調査委員会を傍聴しましたが、「避難指示が遅かった」「避難指示がなかつた」など、政府の事故情報の発信・伝達が住民避難を混乱させる結果となり、原子力防災に対する対応認識不足が指摘されました。

6月9日には双葉地方8町村長と福島知事、国による協議会が開催され、国からはグランドデザインの基本方針や賠償、除染の方針、避難指示区域の見直し等に向けた取り組みについて説明がありました。前向きな議論になってきたと感じましたが、細部の問題についてはまだまだ議論していかなければなりません。今後も私たちは、国が示すグランドデザインや損害賠償、避難指示区域の再編について、曖昧な形で妥協することなく、双葉町の将来を見据えて取り組まなければならぬものと考えています。

また、将来の健康被害を考えとき、きめ細かな放射線量の区分が必要であり、私は国に対して年間被ばく線量が1ミリシーベルト以上の地域に住む住民に移住の権利を認めた「チエルノブイリ法」の考え方を今後の避難指示区域の見直し作業に反映させるよう提案しました。

国が示した線量区分ごとの人口割合と予測でも、双葉町は避難の長期化は避けられない状況にあります。国に対しても医療費の無料化など、長期避難に係る法的救済措置を強く求めてまいります。

双葉町長 井戸川克隆

5月25日、ひばりプロダクション（加藤和也社長）から双葉町にホールボディカウンタ（体内被ばく測定器）が寄贈されました。

ひばりプロダクションでは、美空ひばりの23回忌にあたる昨年11月に東京ドームで「東日本応援チャリティー美空ひばりメモリアルコンサート」「だいじょうぶ日本」～空から見守る 愛の歌～が美空ひばりと交友のあったアーティストの方々の協力により開催されました。

その収益金の一部でホールボディカウンタを購入し、双葉町に贈られました。



ダクションの加藤社長とメモリアルコンサートの司会を務めたフリーアナウンサーの徳光和夫さん、女優の藤原紀香さん等が出席しました。

加藤社長が「日本に育てていただいた美空ひばりが皆さまにこういう形で恩返しきることを天国で喜んでいると思います。日本の未来のために有効に活用され、健康管理をしていただきたい」とあいさつし、寄贈までの経緯について説明されました。

続いて、徳光和夫さんが「大震災で未曾有の被害が出た現状でひばりさんならどうするか。きっと歌の力で日本を励ますために先頭に立って歌われるであろう、との思いを出演者全員が受け止めていた」とコンサートの様子について話されました。また、藤原紀香さんが「今日は、イベントに出演したアーティストの熱い思いもお届けにきました。明日の日本、福島を担う子どもたちや若い世代の健康は国全体の問題だと思います」と話されました。その後、熊本学園大学の中地重晴教授がホールボディカウンタについて説明。ホールボディカウンタには「美空ひばりメモリアルコンサート」に出演されたすべての方々の名前を刻印したプレートが貼り付けられています。

双葉町ではホールボディカウンタを使つて内部被ばくの測定を順次進めていく予定です。



行政報告



されてはおりません。



東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故の発生から1年3カ月が経過いたしましたが、依然として「警戒区域」の指定の中、厳しい避難生活を強いられています。そして見えない放射線への不安とも戦いながら全国の町民の皆さまは、必死に毎日を生き抜いております。こうした中、国においては警戒区域等の見直しにあたり、新たに3つの区域を設定する方針を示しておりますが、除染のロードマップをはじめ、補償・賠償、健康問題、インフラ復旧計画などが依然として明確に

町といたしましても、議会における方針も踏まえて、「避難指示区域の見直しにあたっては、町内全域を帰還困難区域とすること」とし、町内における放射線量の最も高い地域に合わせて町内全域を「帰還困難区域」に統一した扱いとすること。加えて、同様に賠償基準についても、一律賠償とすること。以上のことをついて、復興大臣へ要望書を提出いたしました。国は、原発事故の被害者、犠牲者である私たちの現状をしつかり考えて頂き、対処されるよう望むものであります。

双葉地方の復興、帰還に向けた課題の共有化を図るために話し合いの場としての、双葉地方町村及び福島県と国との協議会が設置されました。課題について県と8町村が一緒に国の進行管理をチェックしていくことを確認していくこととしております。

8町村が国に求めていた双葉郡の復興像や賠償などの7項目についてを確認していくこととしております。

あわせて、副町村長レベルの会議

3月定例会以降の行政経過についてご報告申し上げます。

3月29日、旧騎西高校避難所において、自治会設立総会が開催されました。堀川光男さんが会長に選出され、4月1日から、会長を中心として自主的な避難所運営が行われ

の中で、7項目をベースに整理した「除染」・「賠償」・「健康管理」を柱に国へ対応策を求めていくことで決定、町村長会議の中でも確認をいたしました。

これを受けて、去る6月9日には、双葉地方町村及び福島県と国との協議会が、各担当大臣、県知事が出席のもと開催されました。この中では、賠償基準の検討状況、避難指示区域の見直しに向けた取り組み状況、健康不安対策等の課題3項目とあわせ康不安対策等の課題3項目とあわせの取り組み方針（グランド・デザイン）の説明があり、意見交換を行いました。

しかし、まだ内容的に充分でないことから、一旦各町村ともに持ち帰り、改めて町村側の意見を返すこととしたしました。また、賠償基準については、別途協議することとしたしました。一步前進した内容が提示されたことを評価したいと思いますが、さらに詳細を詰めてまいりたいと考えております。

なお、6月22日に郡山市のホテルにおきまして、渡邊選手の壮行会を開催いたしますので、多くの皆さまのご参加のもと、激励をしたいと思います。町を挙げてお祝いを申し上げたいと思います。

5月1日には、厳しい避難生活が続く中、町民の皆さまにとりまして大変うれしいニュースがありました。双葉町の競輪選手「渡邊一成さん」のロンドンオリンピック出場決定が発表されました。

2008年の北京オリンピックに続きまして、2大会連続出場となります。ぜひ、メダルを獲得していただき、感動を与えていただきたいと思います。町を挙げてお祝いを申し上げたいと思います。



▲6月14日、渡邊一選手に埼玉県加須市から手書きの鯉のぼりが贈られました。

ることを期待しております。

5月からは、大震災と原子力発電所事故により、昨年度は実施できませんでした婦人学級、高齢者大学、郷土文化教室、健康生活学級の生涯学習事業を順次スタートしたところであります。町民の皆さまのコミュニティを図る場として、引き続き進めてまいります。

5月25日、体内被ばく検査測定器・ホールボディカウンタを、ひばりプロダクション様からご寄贈いただきました。これは、昨年11月東京ドームで行われました「東日本応援チャリティー美空ひばりメモリアルコンサート」の収益から購入されたもので、今後、町民の内部被ばく検査のために有効に活用させていただきたいと思っております。



▲ホールボディカウンタ贈呈式



▲郷土文化教室（白河市）



▲たんぽぽ婦人学級（郡山市）



▲町政懇談会（神奈川県会場）

6月10日には、関東方面における町政懇談会を実施し、東京都や神奈川県に避難している町民の方々と懇談を深めてまいりました。懇談会の中心として、役場機能についての考え方や、損害賠償、仮の町中間貯蔵、除染など、たくさんのご意見、要望をいただきました。昨年の東日本大震災及び原子力災害から早や1年3ヵ月が過ぎ、先の見えない避難生活で大変ご苦労をされており、皆さん 의견をできるだけ早く実現できるよう、政府等に対して強く求めてまいるところであります。

昨年の東日本大震災及び原子力災害から早や1年3ヵ月が過ぎ、先の見えない避難生活で大変ご苦労をされており、皆さん意見をできるだけ早く実現できるよう、政府等に対して強く求めてまいるところであります。

現在実施中の四巡目の一時立ち入りにつきましては、三巡目と同様にマイカーでの帰宅にあわせて運送事業者や修理事業者などの帶同も可能ですが、今回から一時立入り専用のコールセンター方式で受付、許可証の発送などを行っております。

6月8日現在では1,061世帯、2,821人の方が一時帰宅を行っておりますが、今回の一時帰宅は7月中旬までを予定しております。

今回も南相馬市からの立ち入り日程を設けておりますが、警戒区域内の他町村と調整しながら実施するため、北方面に避難されております町民の皆さまには日程的な不自由をおかけしておりますがご理解とご



▲町政懇談会（東京都会場）

協力をお願いいたします。



▲四巡目一時立ち入り

表しております。

また、全国的な規模で空間放射線量のモニタリング体制の整備が進んでおり、本年度も警戒区域だけでなく福島県内全域での整備が予定されています。

双葉町で独自に実施した町内の空間放射線量並びに土壤の放射線量測定結果も参考しながら、今後も独自の測定を実施して町内の汚染状況の把握にも努めてまいりますので関係者のご協力をお願いいたします。

なお、放射性物質による汚染量の簡易測定用としてGM型サーベイメータを福島支所に10台、埼玉支所に5台それぞれ配備し、貸し出しを行っておりますが、現在各支所共に順調な活用状況が報告されております。

東日本大震災に関連する災害弔慰金はこれまで平成23年度と平成24年度で、60件177、500千円を支給しております。

審査会には現在でも郡内各町村からの申請書が数多く提出され、厳正な審査が続けられており、認定審査会での決定を受けた場合には、速やかな給付手続きが行われています。

居住環境における空間放射線量の確認ために、昨年度から仮設住宅周辺の空間放射線量率については、多くの皆さんのご協力により定期的に簡易測定を行い、その測定結果を双葉町のホームページなどでも適時公



▲GM型サーベイメーター

双葉町復興まちづくり計画策定のための財源として東日本大震災復興交付金を復興庁に申請しておりますが、3月30日に52,205千円が交付されました。

仮の町を見据えた復興まちづくり計画を策定するにあたって、町民の皆さんからの意見の聴取や希望を仮の町に反映させるための具体的な手法の提案と、その運営を担う委託事業者の公募を4月25日から5月11日かけて行いました。その後、提出された5事業者からの提案を審査するため、府内プロポーザル審査委員会を2回開催し、業務実施体制と配置予定技術者の業務実績、業務実施方針と実施フローなどの企画提案内容について厳正に審査して委託事業者を特定いたしました。現在委託契約の事務手続きを進めているところであり、早急に委託契約を締結し、計画策定業務に着手する考えであります。

また、復興まちづくり委員会については、関係団体の代表者、学識経験者、町職員などで構成する予定で現在委員の選考を進めています。

次の時代を担う子どもたちや若い世代を含めた町民の皆さまのご意見や考え方などを十分に尊重したいと考え方なども十分に尊重したいと考えており、仮の町のあり方など復興まちづくり計画の策定に向けて活発

なご議論をお願いしたいと考えています。

被災町民の皆さまの原子力損害賠償手続きを支援するための双葉町弁護団による相談説明会を4月以降、神奈川県、千葉県、山形県、栃木県において開催いたしました。また、弁護団への受任状況につきましては、6月13日現在で222世帯559名分の受任報告を受けております。

また、原子力損害賠償紛争解決センターに対する和解仲介の集団申立て件数は、5月分まで145世帯、360名となっています。このうち、今年2月に申し立てた分の紛争解決センターによる第1回目の口頭審理が、6月13日に旧騎西高校で行われました。口頭審理では、和解仲介申し立てを行った12世帯の町民の方が、事故直後の大惨事を奪われた町民の辛い避難生活の実情を説明しながら、損害額の正当性を訴えておりました。原子弹損傷賠償手続きは、遅々として前に進んでいない状況ですが、避難生活が長期化する中、町民の皆さまは今後の生活に先の見えない大きな不安を抱えています。国及び東京電力には、精神的損害や土地・建物や家財に対する賠償など、住民の避難生活の実態を十分に踏まえ、誠意

ある対応と完全賠償を行うよう強く
要求するものであります。



▲第1回口頭審理

平成24年度双葉町小中学生の就学
状況について報告いたします。6月
1日現在、小中学生総数510名中、
福島県内に225名、福島県外に2
85名が区域外就学をしております。
福島県外の主な就学先都道府県とい
たしましては、埼玉県106名、新
潟県34名、茨城県31名、神奈川県22
名、東京都22名、栃木県14名など広
範囲にわたっております。

教育委員会いたしましては、全
国に避難しております児童生徒全員
の避難箇所及び就学状況の把握を行
い、就学の支援と心のケアを本年度
も継続して実施してまいります。

双葉町では東日本大震災及び原子
力発電所事故の災害にあわれた幼稚
園児、小中学校児童生徒の保護者の
方を対象に、今年度も継続して就学
援助を実施してまいります。

内容につきましては、双葉町に住
所を有する幼稚園児、小学生と中学
生を対象とし、入園料、保育料や給
食費、学用品費などを援助するもの
で、援助を受けられる期間は平成24
年4月1日から平成25年3月31日ま

次に、双葉町立小中学校教職員の
配置状況でございますが、双葉南・
北小学校教職員20名、双葉中学校教
職員11名が、福島県と埼玉県にそれ
ぞ配属されております。
そのうち22名につきましては「兼
務辞令」を受け、福島県内各地の小
中学校に配属となっております。ま
た、6名につきましては「併任辞令」
を受け、埼玉県加須市の騎西小中学
校に勤務し、双葉町の児童生徒の学
校生活指導を行つております。

各学校長3名につきましては、福
島県内の教育委員会に配属となつて
おります。
さらに、双葉町幼稚園教諭3名に
つきましても、埼玉県加須市の騎西
中央幼稚園に勤務しており、双葉町
の子どもたちの園内活動支援を行っ
ております。

での1年間となります。
今後も、全国に避難されておりま
す幼小中学校の園児・児童生徒に対
し、教育委員会や学校からの情報を
随時提供してまいります。



▲加須市騎西中央幼稚園入園式

お子さんの学校生活や進路などに
についての相談は、就学先の先生に相
談するのが一番良いかと思います。
しかし、どうしても相談できない場
合は、下記の先生方が相談にのって
くださいます。ただし、業務等の都
合で電話に出られない場合もござい
ますので、予めご了承願います。

※相談日時…月曜日～金曜日
(祝日を除く)
午前9時～午後4時まで

教育相談について



応対者	電話番号
双葉南小学校 末永 幸弘 校長先生	080-2841-1690
双葉北小学校 松本 浩一 校長先生	080-2835-6233
双葉中学校 荒木 幸子 校長先生	080-2835-0162



喜びの再会

—石熊地区—

5月20日、福島市穴原温泉において、千葉県や新潟県などの避難先から約40人が参加し、石熊行政区の総会及び交流会が1泊2日の日程で開催されました。

会場に入り、顔を合わせたときに懐かしさがこみ上げ、涙ながらに抱き合つて再会を喜び合う姿が見られました。

総会では、役員の承認や会計報告などが行われ、行政区長に大森忠雄さん、副行政区長に山本文彦さんが承認されました。さらに今後の地区のあり方や青少年健全育成協議会の運営などについて話し合いました。

食事を囲んでの交流会では、それぞれの避難した経路や避難先のこと、近況などを語り合い、震災以来の再会を喜び合いました。また、今回参加できなかつた方々についての消息や石熊地区に古くから伝えられてきた「じゃんがら念佛踊り」や「取り入れ」の踊りなどの芸能文化をどのようにして保存していくかについても話が出されました。

話は尽きず、石熊地区の良さをあらためて実感しながら、夜遅くまで交流する姿が見受けられました。

今後も定期的に集まりを持ち、交流を図つていくことを誓うとともに、また会う日まで元気でいることを約束し、別れを惜しみながら、それぞの避難先に戻りました。

ーお知らせー

日赤共同募金及び避難先自治体に対する自治会費等の納入について

○日赤共同募金

双葉町社会福祉協議会では、双葉町民への共同募金を実施しないことに決定しております。

なお、福島県共同募金会等では、東日本大震災による被災者から共同募金を集めない方針であるとの明確なメッセージを出していることから、避難先自治体から募金要請があった場合は、本人の判断になります。

○避難先自治体への自治会費

避難先の借り上げ住宅入居者に対して、地元世話人等から自治会費等の納付の依頼があった際の対応については、本人の判断になります。

一時立入り[四巡回]のお知らせ —追加日程分—

受付等は町に代わってコールセンターで行います。

○自家用車等による立入り

道の駅ならは（楢葉町）を中継基地とした立入り

- ・7月5日(木) …上限350世帯
- ・7月15日(日) …上限350世帯

【一時立入り受付コールセンター】

☎ 0120-234-530

※受付時間…午前8時～午後9時（祝・休日含む）

【問い合わせ先】住民生活課 一時立ち入り担当

☎ 0480-73-6925



ご注意ください 

家庭用電気マッサージ器の適正使用について

家庭用電気マッサージ器について、誤った使用により窒息死した事故が発生しました。

家庭用電気マッサージ器の使用については、取扱い説明書等をよく読み、正しく使用してください。

◆ローラー部の布カバーを外したり、破れた状態での使用は大変危険なため、絶対にしないでください。

なお、詳細については厚生労働省のホームページ「家庭用電気マッサージ器の正しい使用について（注意喚起）」をご覧いただか、下記までお問い合わせください。

**【問い合わせ先】福島県生活環境総室
消費生活課（消費生活センター）
☎ 024-521-7736**

新山行政区からのお知らせ

新山区長 竹原 天

<新山地区定期総会（大字会）開催について>

○開催日時… 7月18日㈬ 午前11時～

○開催場所…郡山市市民交流プラザ 和室

郡山市駅前2丁目11-1

ピックアイ7階（駅西口北側）

☎ 024-922-5544

【連絡先】竹原 ☎ 080-5568-4997

ゴミの出し方についてお願ひ

ゴミの出し方のルールは市町村ごとに異なります。居住地の市町村の基本ルールを守って、ゴミを出すようにお願ひいたします。

—ゴミ出しの基本ルール—

○分別と収集日を確認しましょう。

○時間を守りましょう。

○決められた集積所へ出しましょう。

○決められた袋を使いましょう

いわき市及び白河

市では「市規格袋」
で出してください



マイバック推進デー

福島県では、平成24年7月より毎月8日、9日を「マイバック推進デー」と設定し、買物用マイバックの持参を推進します。

例えば、レジ袋1枚を辞退することで18.3mlの石油が節約でき、そのことが地球温暖化にもつながります。皆さんのご協力をお願いします。

また、県では「マイバック推進デー」の協力店を募集しています。

**【問い合わせ先】
福島県環境共生課
☎ 024-521-7248**

にこにこサロン を開催します

平成24年度の福島県内における介護予防事業「にこにこサロン」は、毎月1回次のように仮設住宅等において開催予定です。

おおむね65歳以上の方を対象に、「にこにこ体操」や「折り紙」、「脳トレゲーム」、「ぬり絵」等を通して参加者の皆さんと一緒に楽しい時間を過ごします。たくさんの方のご参加をお待ちしています。

平成24年度 7月 福島県内仮設住宅 開催予定日

仮設住宅集会所	住所・電話	開催月日	時間
(いわき市) サポートセンター「ひだまり」	いわき市南台3丁目1-1 080-6290-5927（高野）	7月3日(火) (毎月第1火曜日)	13:30~15:30
(郡山市) 喜久田仮設住宅	郡山市喜久田町早稲原字上ノ端54-4 080-6290-5960（木村）	7月12日(木) (毎月第2木曜日)	13:30~15:30
(白河市) 白河仮設住宅第二集会所	白河市郭内151-29 080-6290-5930（芹川）	7月19日(木) (毎月第3木曜日)	13:30~15:30
(福島市) 平野仮設住宅	福島市飯坂町平野字内小原田8-1 080-6290-5941（林）	7月24日(火) (毎月第4火曜日)	10:00~12:00
(福島市) さくら仮設住宅	福島市さくら1丁目10-1 080-6290-5941（林）		13:30~15:30

【問い合わせ先】双葉町社会福祉協議会 いきいきサポートセンター（介護予防事業所）

☎ 080-6033-1199(古室)

後期高齢者医療 被保険者証の定期更新について

— 新被保険者証は郵送します —

現在お持ちの被保険者証の有効期限が平成24年7月31日までとなっております。平成24年8月1日以降の被保険者証については、7月下旬頃に、役場に届出のある避難先住所へ郵送いたします。新たに申請の必要はありません。

届出のある避難先住所に変更のある方は、8月1日までに保険証を交付できない場合もありますので、お早めにご連絡ください。

＜簡易書留郵便での送付について＞

被保険者証は、簡易書留郵便で送付しますので、配達時にご不在の場合は郵便局に一時保管されます。再配達については「郵便物お預かりのお知らせ」に記載の連絡先へお問合せください。郵便物の保管期間は1週間ですのでお早めにお問い合わせください。

なお、被保険者証を送付する封筒は双葉町のものでなく、福島県後期高齢者医療広域連合と記載のある封筒になりますので、お間違えのないようにしてください。

国民健康保険高齢者受給者証

標準負担額減額認定証の更新について

【高齢受給者証の更新について】

平成24年8月1日から国民健康保険高齢受給者証(70歳から74歳の方が対象)が更新となります。新しい高齢受給者証につきましては、7月下旬から役場に届出のある避難先住所へ送付いたします。避難先住所に変更がある方につきましては、平成24年8月1日までに送付できない場合もありますので、お早めにご連絡ください。

高齢受給者証につきましては医療機関などを受診する際に必ず保険証と一緒に窓口へ提示してください。

なお、一部負担金につきましては高齢受給者証に負担割合の記載がありますが、平成25年2月末日までは免除されます。

【標準負担額減額認定証の更新について】

標準負担額減額認定証(以下:認定証)の有効期限は平成24年7月31日までです。8月以降の認定証の交付については申請が必要となります。認定証は申請のあった月の1日からの発効期日となりますので、該当する方は8月末までには申請をしてください。申請書は郵送いたしますので、問い合わせ先までご連絡ください。

＜有効期限の切れた被保険者証について＞

有効期限が切れました保険証につきましては健康福祉課もしくは福島支所住民生活班までご返却ください。ご返却いただけない場合には、自己責任のもと細かく裁断し破棄してください。

＜標準負担額減額認定証について＞

標準負担額減額認定証(以下:認定証)の有効期限は平成24年7月31日までです。8月以降の認定証の交付については申請が必要となります。認定証は申請のあった月の1日からの発効期日となりますので、該当する方は8月末までには申請をしてください。

申請書については福島県後期高齢者医療広域連合ホームページからダウンロードできます。ダウンロードできない場合には申請書を送付いたしますので、健康福祉課国保年金係までお問い合わせください。

【福島県後期高齢者医療広域連合ホームページURL】
<http://fukushima-kouikirengou.lineup.jp/>

※標準負担額減額認定証とは、住民税非課税世帯について、入院時食事療養費および入院時生活療養費が減額となる認定証です。

※社会保険等その他の医療保険に加入されている方については、加入している保険から標準負担額認定証の交付を受けられる場合がありますので、加入している医療保険の保険者にお問い合わせください。

【有効期限の切れた高齢受給者証および認定証について】

有効期限の切れた高齢受給者証および認定証は健康福祉課国保年金係もしくは福島支所住民生活班までご返却いただくか、自己責任のもと、細かく裁断して破棄してください。

その他、ご不明な点等がありましたら下記問い合わせ先までご連絡ください。



【問い合わせ先】 健康福祉課 国保年金係 ☎ 0480-73-7835

「ふくしまの赤ちゃん電話健康相談」

妊産婦や乳幼児を持つ保護者等の健康や育児の不安や悩みを解消するために、下記のとおり相談窓口を開設しています。お気軽にご相談ください。

1 相談内容

(1) 健康相談

妊産婦や乳幼児を持つ保護者等の健康や育児、乳房のケア等の不安や悩みについて相談に応じます。

(2) 母乳の放射性物質の濃度検査

母乳育児をされている方で、母乳の放射性物質濃度検査を希望される場合に検査を実施します。

※母乳の検査は、無料で受けられます（検査料、送付料とも無料です）

※申し込みをしていただいた後、検査機関にお送りいただく容器等をお届けし、自宅で母乳を検査機関に送付していただきます。

2 相談対応者…助産師（福島県助産師会会員）

3 相談時間

○月曜日～金曜日（祝日を除く）

○午前9時30分～午後4時30分

窓口の開設について



4 電話相談

福島	024-573-0211 080-2835-9988
会津	0242-85-8303
いわき	080-2826-4604 080-2827-3005

※現在県外にお住まいの方、里帰りで県内においての方も利用できます。

5 その他

- (1) 相談は無料でお受けします。
- (2) 相談内容についての秘密は厳守します。
- (3) 相談者のご希望により助産師による訪問指導を行います。
- (4) 事業は、福島県助産師会に委託し実施します。

【問い合わせ先】

福島県保健福祉部 児童家庭課
☎ 024-521-7174（内線）2567

双葉町 高齢者大学

—7月開催のお知らせ—

【問い合わせ先】

生涯学習課 ☎ 0480-73-6843

	会津若松市	白河市	埼玉県加須市	茨城県つくば市	いわき市
開催日	7月2日(月)	7月6日(金)	7月12日(木)	7月13日(金)	7月19日(木)
時間	13:30～15:00	10:30～12:00	13:30～15:00	13:30～15:00	10:30～12:00
場所	会津若松中央公民館	マイタウン白河	旧騎西高校ＬＬ教室	つくば連絡所	いわき市文化センター
連絡先	0242-22-4700	0248-31-7595	0480-73-6843	029-854-7511	0246-22-5431

※福島市、郡山市につきましては6月に実施しました。

※知り合いの方やお友達を誘ってご参加ください。

※駐車場が狭いので、公共交通機関をご利用ください。お車の場合はなるべく乗り合せてご参加ください。

生涯学習課事業として、高齢者大学を開催いたします。第1回目として下長塚区長で元浪江小学校長の永野康明先生による「今日も楽しく！明日も元気に！」と題した講話をお聴きします。

みんなで学習することで、生きがいを見つけ、町民同士の絆を深めませんか。町民の皆さまどなたでも参加できますのでお待ちしています。

福島市合同企業説明会のお知らせ

- ・日時：7月18日(水) 13:00～16:00
- ・場所：コラッセふくしま4階「多目的ホール」他
- ・参加対象者：一般求職者、若年者、既卒者
- ・参加企業：ホームページで閲覧できます。

参加費無料
事前申し込み 不要

【問い合わせ先】福島市商業労政課 ☎ 024-525-3720



平成24年度 農畜産物 損害賠償説明会のお知らせ

農畜産物損害賠償請求に関する説明会を開催いたしますので、最寄りの会場にお越しください。

期日	曜日	時間	方部	場所	電話
7月10日	火	10:30~	13:30~	福島	パルセいいざか 第2会議室 福島市飯坂町字筑前27-1
		10:30~	13:30~	会津	会津若松市文化センター 大ホール 会津若松市城東町14-52
7月11日	水	—	13:30~	川内	J Aふたば川内支店 2階会議室 川内村上川内字町分106
		—	13:30~	広野	J Aふたば広野支店 2階会議室 広野町下北迫字苗代替1
7月12日	木	—	13:30~	埼玉	双葉町埼玉支所(旧騎西高校) 視聴覚室 加須市騎西598-1
7月13日	金	10:30~	13:30~	いわき	いわき ゆつたり館 大研修室 いわき市常磐湯本町上浅貝22-1
7月18日	水	10:30~	13:30~	郡山	福島県農業総合センター 会議室 郡山市日和田町高倉字下中道116

※ 7月10日、13日、18日は午前と午後の2回説明会を開催いたします。

【問い合わせ先】 J Aふたばコールセンター ☎ 0120-808-205

○主催
厚生労働省福島労働局、
ハローワーク、福島県
新卒応援

○会場
【問い合わせ先】
郡山新卒応援ハローワーク
☎ 024-927-4633

○実施内容
就職支援セミナー 午前11時~12時
合同就職面接会 午後1時~4時
午後1時30分~4時

○開催日
7月24日(火)
郡山・須賀川・白河地区の企業50社

○会場
【問い合わせ先】
福島新卒応援ハローワーク
☎ 024-534-0466

○実施内容
就職支援セミナー 午前11時~12時
合同就職面接会 午後1時~4時
福島・二本松地区の企業が35社参 加予定

○開催日
7月17日(火)
福島・二本松地区の企業が35社参 加予定

新規大学等を卒業予定の方、平成22年3月以降に卒業して、現在就職活動をしている方を対象に、正社員で雇用する計画のある県内企業との面接会を開催いたします。ぜひご参加ください。

ふくしま大卒合同就職
面接会を開催します

学生の皆さんへ

テクノアカデミー浜オープンキャンパス

「福島県立テクノアカデミー浜」のオープンキャンパスを開催いたします。(申し込み不要、参加費無料)

- 開催日程 7月1日(日)及び7月22日(日)
午前10時~午後1時 ※両日程とも
(午前9時30分受付開始) 開催時間は同じ
- 場所 南相馬市原町区萱浜字巣掛場45-112
- 対象者 進学を希望している高校生及び社会人
※本校に興味を持った方は、どなたでも参加可能
- 平成25年度募集科

短期大学校	計測制御工学科 (定員20人)
能力開発校	機械技術科 (定員15人) 自動車整備科 (定員20人) 建築科 (定員15人)

【問い合わせ先】福島県立テクノアカデミー浜
☎ 0244-26-1555

戦没者遺児の皆さんへ

戦没者遺児による 慰靈友好親善事業への参加募集のご案内

財日本遺族会は「戦没者遺児による慰靈友好親善事業」の参加者を募集しています。

この事業は、厚生労働省から補助を受けて実施しており、先の大戦で父等を亡くした戦没者の遺児等を対象として、父等の戦没した旧戦跡を訪れ、慰靈追悼を行うとともに、同地域の住民と友好親善を図ることを目的としています。

○参加費用：9万円

詳しくはお問い合わせください

【問い合わせ先】 日本遺族会事務局

☎ 03-3261-5521

福島県遺族会事務局

☎ 024-3261-5877

「東日本大震災事業者再生支援機構」設立のお知らせ

東日本大震災の発生直後より、既往債務が負担になって新規の資金調達が困難となる等の問題（いわゆる二重債務問題）が指摘されてきました。この問題に対しては、官民一体となって全力を挙げてさまざまな施策に取り組んでいます。

こうした中、債権の買取等を通じて震災の影響により過大な債務を負っている事業者の方々の負担を軽減しつつ、その被災地域での再生を支援する目的から、国により新しい会社「東日本大震災事業者再生支援機構」が設立されました。



＜設立の趣旨＞

東日本大震災事業者再生支援機構（支援機構）は、東日本大震災による被害により、過大な債務を負っている事業者であって、被災地域で事業の再生を図ろうとする皆様に対して、金融機関等が有する債権の買取り等を通じ、債務の負担を軽減しつつ、その再生を支援することを目的とする株式会社です。国が設立し、金融機関等と連携して支援を行います。

＜支援の内容＞

事業者の皆さまの事業再生を、以下のようなさまざまな手法により支援し、対象地域の「復興」へとつなげてまいります

＜対象事業者＞

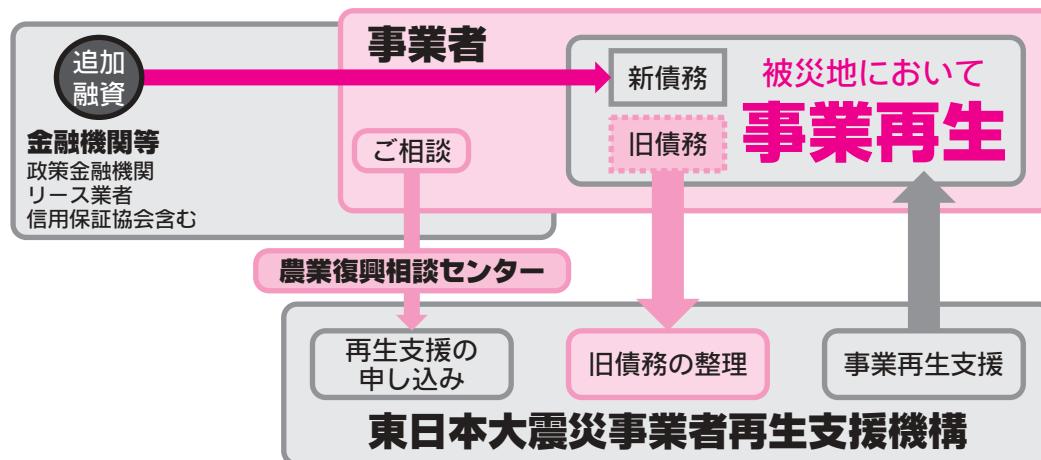
東日本大震災で受けた被害により過大な債務を負っている事業者で、対象地域において事業の再生を図ろうとする事業者

- ・大企業、第三セクターは対象外
- ・小規模事業者、農林水産事業者、医療福祉事業者は重点的支援対象
- ・産業復興機構が支援することが困難な事業者

【問い合わせ先】

（株）東日本大震災事業者再生支援機構

- ・仙台本店 ☎ 022-393-8550（相談窓口）
- ・東京本部 ☎ 03-6268-0180（相談窓口）



双葉農業普及所からのお知らせ

双葉農業普及所は、毎月県内5カ所で、避難されている農家の皆さんとの相談窓口を設置しております。

窓口では、相談者の現在の状況を聞き取らせていただきながら、皆さんが必要な情報、農産物・土壌モニタリング結果、資金・事業の紹介など）をわかりやすくご説明いたしますので、お気軽に越しください。

7月の日程は右記のとおりです。

※町村問わずに最寄りの窓口にお越しください。

※右記以降の日程は随時お知らせいたします。

双葉農業普及所ブログ「ふたばの農業通信」に掲載しておりますので、ご利用ください。パソコン、携帯電話からご覧になれます。（携帯電話のパケット料金にはご注意ください）

【問い合わせ先】

双葉農業普及所 ☎ 0246-24-6044 FAX 0246-24-6142

7月5日(木)	三春貝山多目的運動公園管理棟 (葛尾村役場三春出張所)
7月19日(木)	
7月5日(木)	いわき明星大学 大学会館2階 (楢葉町役場いわき出張所)
7月19日(木)	
7月6日(金)	J Aあいづ本店3階
7月20日(金)	J Aふたば組合員サポートセンター
7月13日(金)	男女共生センター1階 (浪江町役場二本松事務所)
7月27日(金)	
7月26日(木)	郡山市富田町若宮前応急仮設住宅集会所 (富岡町仮設住宅)
7月12日(木) 10時～12時	郡山市緑ヶ丘東7丁目応急仮設住宅集会所 (富岡町仮設住宅)

※時間：午前10～午後3時

全国に避難されている皆さんから寄せられた
お便りやメールの一部をご紹介いたします

双葉の風だより



さよなら ふる里

今宵も眠れぬ夜が来る
眞るとあの日を思い出す
コップ酒を燐って見ては
やっぱりあの日を思い出す

昨夜は夢で目が覚めて
良い日の双葉が浮かび来る
忘れようと思っても
なおさらあの日を思い出す

さらば ふる里さようなら
幼き頃の思い出は
こころのお蔵にしまいます
ふる里恋しい仮の宿

柚原 秀康

双葉町下条の渡部晃さんが作詞して、
ヒット曲「孫」で知られる山形県出身の演歌歌手の大泉逸郎さんが曲をつけて歌った「爺の海」が口コミで広がり、話題になっています。

渡部さんは昨年9月、震災の影響で体調を崩した時に詩を書き始め、震災前に営んでいた小料理店の仕入れのために足を運んでいた請戸漁港などの様子をつづりました。大泉さんの奥様が南相馬市小高区の出身だったことが縁で、渡部さんが詞を送り、大泉さんは「いつの日か、この歌の風景が復活できるように」と願いを込めて作曲したそうです。

震災で亡くなった人への鎮魂と震災前の美しく豊かな故郷の海を思い出してもらえるようにとの思いを詞につづったという渡部さんは、「一日も早くふる里に帰れる日が訪れる事を願っています」と話していました。

震災で 身近な人も失いし
悲しみ深き 三月十一

震災で すべてを失う 身なれど
日々一筋の 光求めて

在りし日の 姿懐かし ふるさとの
思いを胸に 今宵も更け行く
スカンボの 花咲く上手よ 中浜の
姿懐かし 夢の如くに

郭公の 初音を聞けば 霧の中
藤の花咲く 淡き水色

古室 仁

青々と 旅路の涯の 夏の月
夏山や 高く高くと 雲の上

村田 行弘

陸のあかりも近くに寄れば
綱を引く手に 豊漁祈る
赤胴顔が 爺の歴史
大物語に 一花咲けば

水平線 きらきら燃えて 春惜しむ
想いでを 風に流して 葱坊主

森 正夫

野の藤の 風吹くままに 香らせる
初夏の 山なみ隠す 日昏れ雲

関根 初巳

波のしぶきの のれんをくぐりや
はるか彼方は 双葉の海よ
淡い緑と 白亜の館
しづがれ声が 浪間にひびきや
無事でいてよと声がする

あれを見ろよと 指さす先は
かすむ海原 請戸の港
朝もやつんざき 目指すは漁場
タバコくゆらせ あごひげなでりや
今日も大漁の陽が昇る

野馬追の 古き肩章 色あせず
法螺貝の音に 心そぞろな 夏の宵

武内 恒雄

爺（じーじ）の海

渡部 晃



避難生活が続く中、全国に避難されている町民の皆さまの声を「双葉の風だより」のコーナーで紹介するため、皆さまからのお便りを募集しています。

現在の生活の様子、避難先の地域のこと、町民の皆さまに伝えたいことなどなんでも結構ですので、皆さまの声をお寄せください。

問い合わせ先】

秘書広報課 秘書広報係
☎ 0480-73-6880(代表)

仮設住宅への入居者募集(継続)

1. 募集物件 (6月15日現在)

地区	間取り	募集戸数	住 所
福島市	1K	9戸	飯坂町平野字内小原田8-1
	2K	23戸	
	3K	16戸	
	計	48戸	
郡山市	1K	3戸	富田町町田15
	計	3戸	
	1K	5戸	喜久田町早稲原字上ノ端54-4
	2K	17戸	
	3K	4戸	
	計	26戸	
	1K	12戸	日和田町高倉字諫訪前82
	2K	53戸	
白河市	3K	41戸	
	計	106戸	
	1K	10戸	郭内151
	2K	30戸	
	3K	20戸	
	計	60戸	

2. 募集締切 当分の間受け付けをします。

窓口受付時間：午前9時～午後5時まで

3. 応募方法

双葉町仮設住宅入居申請（抽選申込）書に必要事項を記入の上、双葉町福島支所へお申し込みください。直接お越しになれない場合は、申請書をファックスまたは郵送にてお申し込みください。

※3Kは3名以上で受け付けします。

※被災証明または罹災証明の写しを付けてお申し込みください。

※お電話、Eメールでの申請は受け付けできません。

4. 入居時期 入居決定次第順次入居可能

5. 入居期間

原則として1年間、ただし、特別な事情がある場合のみ最長平成26年3月31日まで

6. その他

各地区にペット飼育可能な区間を一部設けますが、応募多数の場合は抽選となります。

※住宅の家賃は無料です。駐車場は1世帯1台です。

※エアコン、ガスコンロ、テレビ、冷蔵庫、炊飯器、電子レンジ、洗濯機、ポットは備えてあります。

※電気、水道、ガス料金、食費などの経費は入居者の負担となります。

[問い合わせ先] 福島支所 ☎ 024-973-8090
FAX024-933-5124

郡山富田応急仮設住宅 住所：郡山市富田町町田15



自治会役員（敬称略）

役職名	氏 名
会長	小川兼太郎
副会長	佐々木 実



▲自治会長 小川兼太郎さん



▲紹介員の渡邊みよ子さん（中央）、
講義孝雄さん（左）

カッコウやウグイス、キジなどの鳴き声が聞こえ、緑豊かな自然環境に恵まれた富田応急仮設住宅には、55世帯約100人が避難生活を送っています。14棟の仮設住宅のそれぞれの棟にはいちご、もも、ぶどう、メロンなどの果物の名前がつけられています。また、各家々の玄関先は草花で飾られていて温かさが感じられます。

近くには富岡町や川内村の仮設住宅があり、ゲートボールなどで交流を図りながら、楽しむことができます。

病院や歯科医院などの医療施設も充実しており、心強く感じられます。また、食料品などを積んだ買い物バスなども巡回しているので、生活しやすい環境です。

そして、2人の紹介員の方が、毎日、声をかけながら一軒一軒を回り、安否確認等を行っています。

ぼくの夢・わたしの夢



双葉南小学校 6年 **半谷 愛さん**
(現在:栃木県宇都宮市立清原東小学校)

私の将来の夢は、幼稚園の先生になることです。

私がふたば幼稚園に通っていた頃、先生方はいつも明るく、優しく接してくれました。私が転んだ時、すごく痛かったけど「だいじょうぶ」と声をかけてもらっただけですごく安心しました。

一時帰宅の時に最初に持ってきてもらったのは、幼稚園の頃のアルバムでした。楽しかった思い出がいっぱい詰まっていたからです。

私は小さい子どもたちが大好きです。だから幼稚園の先生になって、子どもたちが私と同じように毎日楽しく過ごせるようにしてあげたいと思います。

国内外の皆さんから千羽鶴や絵手紙、激励のお言葉などをいただいています



▲5月25日、埼玉県坂戸市の山村国際高校生徒会様より義援金をいただきました。

▶ 6月11日、千葉市社会福祉法人三育ライフシャローム若葉様より、ふれあいバザーの収益金を義援金としてご寄附いただきました。



双葉町では、町民の皆さまの**所在の把握**を行っています。これまで滞在されていた場所から移動された場合や借り上げ住宅、仮設住宅等に移られた場合もご連絡をお願いいたします。

○総合受付 コールセンター 0120-455-770

埼玉支所

〒347-0105

埼玉県加須市騎西598-1 旧騎西高校内

☎ 0480-73-6880 FAX 0480-73-6926

✉ saitama@town.futaba.fukushima.jp

福島支所

〒963-8024

福島県郡山市朝日一丁目20番2号

☎ 024-973-8090 FAX 024-933-5120

✉ fukushima@town.futaba.fukushima.jp

○双葉町公式 臨時サイト(災害版) <http://www.town.futaba.fukushima.jp/>
ホームページ 臨時モバイルサイト(災害版) <http://www.town.futaba.fukushima.jp/mobile/>



高野桃花ちゃん(2歳3ヶ月)と
お母さんの愛さん(下条)

元気いっぱい遊んでいます。

▲ 現在、いわき市にお住まいです。

双葉町民の避難状況

(平成24年6月18日現在)

- ・福島県内に避難されている方 3,584人
- ・福島県外に避難されている方 3,411人

お知らせ

広報ふたばは、毎月世帯主の方にお送りしていますが、家族が離れて暮らしている等、世帯主以外の方で郵送を希望される場合は、双葉町総合受付コールセンター(☎ 0120-455-770)までご連絡ください。

連絡先